



アイヌ語で「広場」の意味  
文 北原 次郎太 絵 小笠原 小夜

### クイズ



東北地方にも、道内と同じく、アイヌ語が基になった地名がたくさんあるよ。いくつ読めるかな。

- ①青森県今別町
- ②青森県東通村尻労
- ③青森県東通村白糖
- ④宮城県大崎市保呂内
- ⑤青森県五所川原市春日内
- ⑥秋田県仙北市西木町浦子内
- ⑦山形県尾花沢市猿羽根(猿羽内とも)

—答えは紙面の下に

# 失くした物語 シンリッオロツペ

監修 佐々木 利和

## 千石船持ち豊かな暮らし

きょうは東北地方のアイヌ民族や文化の広がりについて、しょうかいします。

東北地方の、山形県や宮城県付近までは、土地の名前にアイヌ語が残っています(左のクイズを見てください)。このあたりまでアイヌ語が使われていた証拠だと考えられます。

青森県の津軽半島や下北半島には、江戸時代にもアイヌ語で暮らす人たちがいたことが分かっています。江戸時代後半には、言葉や暮らし方がすっかりまわりの和人と同じになっている人もいました。

1788年、菅江真澄という旅人が、津軽半島の三厩に来た時のこと。上杉鉄の浦というところにとまりました。よくよく話を聞くと、真澄をとめてくれた村長の四郎三郎や、村の人々は、その土地のアイヌなものでした。このころには和人と同じ髪形にし、ヒゲをそり、女性も入れずみをしていないので、和人と見分けがつかなかったのです。

四郎三郎によれば、津軽のアイヌ民族の中には、以前からの暮らしを好む人と、新しいの好きの人がいたようです。四郎三郎は手鉄のクマカインというアイヌの子孫。ほかにも付近の有力者として、ヘキリバという人の子孫の「又右衛門」、カフタインの子孫「治郎兵衛」、ムサカインの子孫「清八」といった人たちがいました。下北半島にはハツヒラという人の子孫がいました。

同じ年に津軽を訪れた古川古松軒によると、四郎三郎は千石積みの船を持っていて、津軽の殿様からも仕事を頼まれ、豊かに暮らしていたようです。また、真澄たちより50年前に津軽を訪れた坂倉源次郎は、先代の四郎三郎に会い、その娘たちは琴と歌でもてなしてくれたといいます。

こうした東北地方のアイヌ民族の中には、ヤウンモシリ(北海道)に移り住んだ人もいれば、和人と同じ暮らしをしながらも東北に暮らしている人もいます。青森県はアイヌの家系に伝わっていた刀を有形文化財に指定。東北地方の博物館には、生活道具が置いてある施設もあります。(敬称略)

### 津軽の村長

### 四郎三郎 (18世紀)



江戸時代の東北アイヌは、1646年ごろには弘前藩と南部藩という二つの藩の領民となっていました。ヤウンモシリ(北海道)では、アイヌ民族は領民とはならなかったため、ここは大きなちがいです。

東北アイヌは「秋」と呼ばれ、水田を作ることができない身分とされました。代わりに狩猟や漁業、焼畑農業をし、船を操るのが得意なので、松前藩までの飛脚役(手紙や荷物を運ぶ仕事)を任されていました。

東北アイヌにもヤウンモシリと同じ文化が多く見られます。弘前藩の和人が北海道へ行く時には、津軽アイヌが通訳をしました。狩りに毒矢を使い、子グマを育ててイヨマンテ(クマの霊送り)をし、樹皮のせんいか

ら衣服(アットウシ)を作ったことも知られています。

### 狩猟や漁業 藩の領民に

弘前藩も盛岡藩も、18世紀ごろには「秋」の身分をなくし、和人化を進めました。東北アイヌの姿は見えにくくなっていきますが、民族意識は残り、今でもアイヌ語名の先祖まで家系をたどれる人がいます。

一方、18世紀後半からはヤウンモシリへ出かせぎに行く人々が増え、アイヌ文様のあるアットウシや山丹錦(中国製の絹織物)などいろいろなものを持ち帰りました。アットウシはじょうぶで動きやすく、喜ばれました。和風化を進めていた盛岡藩は1809年から3度もアットウシ禁止令を出しましたが、家々に残されたアットウシは戦後まで受けつがれました。

明治時代にもアットウシが着られていた。津軽で作られたアットウシもある



青森県の文化財になっているアイヌの刀剣



年配の世代には、アイヌ語を聞きおぼえている人もいる(くつの、本来の音はケリ)



千石船で荷物を運ぶ四郎三郎。津軽の殿様からも仕事を頼まれた

### ヘカチ マッネカチ

ななちゃん(小6) 釧路市

「ヘカチ マッネカチ」は「男の子 女の子」の意味です。若いアイヌの人にインタビューするコーナーです。

—インロー、こんにはは、おやりやト  
ンコリ(弦楽器)が上手ですね。  
おばあちゃんが教えたんです。  
妹やいとこたちとやっています。  
—どんなおとまりをおやりましたか。  
フタレチユイ(長い髪をまとめた)  
とか、ロホンナロホン(長いぼうを落  
さないようにやりとりするおとまり)。トン  
コリではトキトランラン(白鳥が  
湖に降りる様子)の曲(スマリブコ  
サン)キツネが山からおりてくる様子  
の曲とか、あといくつか。  
—ななさんのおとまりは元気があつ  
て、とても楽しいですね。将来の夢は  
どんなことでしょうか。

### 将来の夢は看護師

—好きな授業は?  
算数が好きです。楽しい。体育も好き。  
最近バスケットボールをしました。あ  
とは休み時間に友達とトランプするの  
が好き。  
—家ではどんなことをしているん  
ですか。  
携帯でラインをやるのが楽しい。見る  
だけでメッセージを送ったりはしな  
いけど、音楽も好きです。自分も4年  
生からHIPHOPダンスを習っていて、韓  
国のBOOMBAYAHという女の子の  
グループが好きです。ダンスがかっこ  
いい。  
—ありがとうございました。イイラ  
イアレ。

### クイズの答え

- ①「ヘカチ」(男の子)、「マッネカチ」(女の子)の意。アイヌ語で「男の子」は「ヘカチ」、「女の子」は「マッネカチ」。
- ②「クマカイン」(クマの子孫)。「ヘカチ」(男の子)、「マッネカチ」(女の子)の意。
- ③「ヘカチ」(男の子)、「マッネカチ」(女の子)の意。
- ④「ヘカチ」(男の子)、「マッネカチ」(女の子)の意。
- ⑤「ヘカチ」(男の子)、「マッネカチ」(女の子)の意。
- ⑥「ヘカチ」(男の子)、「マッネカチ」(女の子)の意。
- ⑦「ヘカチ」(男の子)、「マッネカチ」(女の子)の意。
- ⑧「ヘカチ」(男の子)、「マッネカチ」(女の子)の意。
- ⑨「ヘカチ」(男の子)、「マッネカチ」(女の子)の意。
- ⑩「ヘカチ」(男の子)、「マッネカチ」(女の子)の意。